

が行われました。

夜には田原市長のご出席も賜ったバンケットが開催され、学生が招待講演者の先生方と積極的に交流する姿も見られるなど、分野の垣根を越えた交流が行われました。この他、14日午前中には本学EIRIS・VBL(ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー)のラボツアー、午後には、田原市の自動車工場、メガソーラー予定地、植物工場を見学するエクスカーションを実施しました。ラボツアーで訪れたLSI工場では、参加者の方から、自分の分野で使えるLSIチップを作って欲しいという声があがるなど、今後の国際的な共同研究への展開も期待されます。

多くの参加者、招待講演者の方々からは、自分の専門分野以外の最先端の話をまとめて聞ける学会というのは世界的に見ても珍しく、非常に有意義であったとのコメントをいただきました。この国際会議の開催にあたり、学内外の多くの方々からご支援、ご助力をいただきました。開催地である田原市および田原市低炭素施設園芸づくり協議会から多くのお力添えをいただきました。社会からの科学技術への期待は益々強くなってきています。このIrago Conferenceのシリーズは、来年度以降も継続して開催する予定です。分野の垣根を越えて広く人類が取り組むべき問題を考える「Irago Conference」が、次世代に繋がる科学や技術の端緒になってくれればと願っています。



ポスターセッションの様子



山中大明君(左)と石田誠研究所長



The Irago Conference記念撮影